

令和元年度 卒業時における学修成果達成度調査報告書

令和2年5月13日

別府大学

大学企画運営会議

I R委員会

# 卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR 委員会

## 卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に 3 ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通じた学修成果の達成度調査を卒業時に実施する。

## 1. 調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム (moodle) のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要なもの用紙に印刷したものに回答を願い、代理入力を行う。

### 調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 401 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

### 調査期間

調査期間は、2020 年 1 月 6 日～3 月 24 日を調査期間として、調査を実施した。

### 調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料 1 として、本報告書の文末に添付した。

## 2. 調査実施結果

### 1) 学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業生数と調査回答数と回答率を下の表1にまとめた。各学科の回答状況は表1に示す通りで、大学全体での回答実績は87%となった。

表1. 卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	55	50	5	90.9%
史学・文化財学科	76	55	21	72.3%
人間関係学科	56	49	7	87.5%
食物栄養学科	84	83	1	98.8%
発酵食品学科	31	31	0	100.0%
国際経営学科	99	82	17	82.8%
計	401	350	51	87.3%

調査項目ごとに、各学科別と全体の集計結果をそれぞれの百分率により、それぞれグラフ化した。

### 1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の項目（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養の、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての回答を図1に示した。

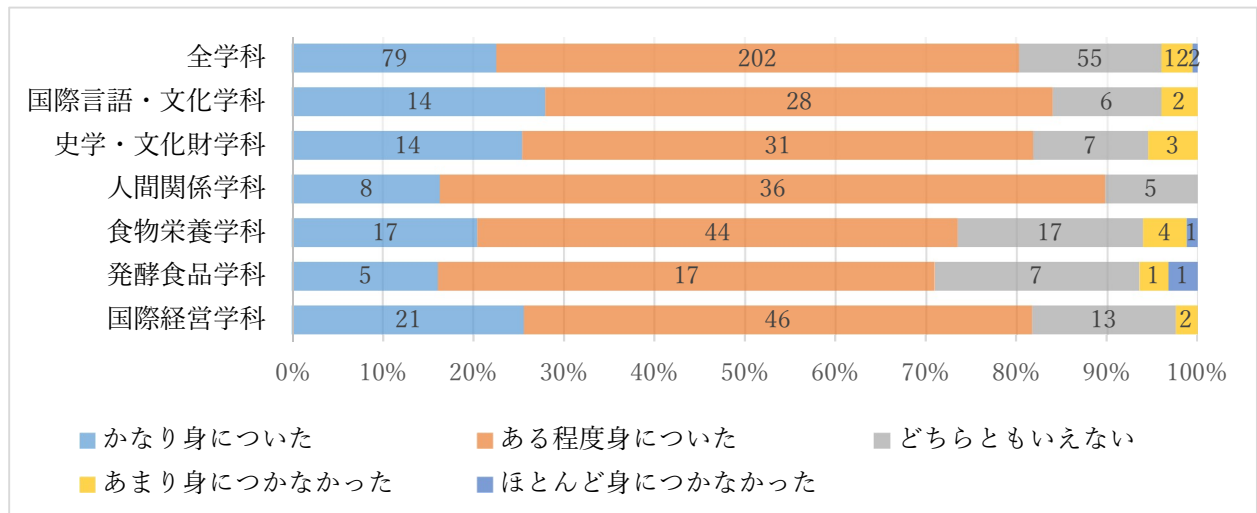


図1. 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養の大学全体及び学科別の主観的修得状況について、文学部と国際経営学部は80%を超えているが、食物栄養科学部だけが70%代と低くなっている。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図2に示した。

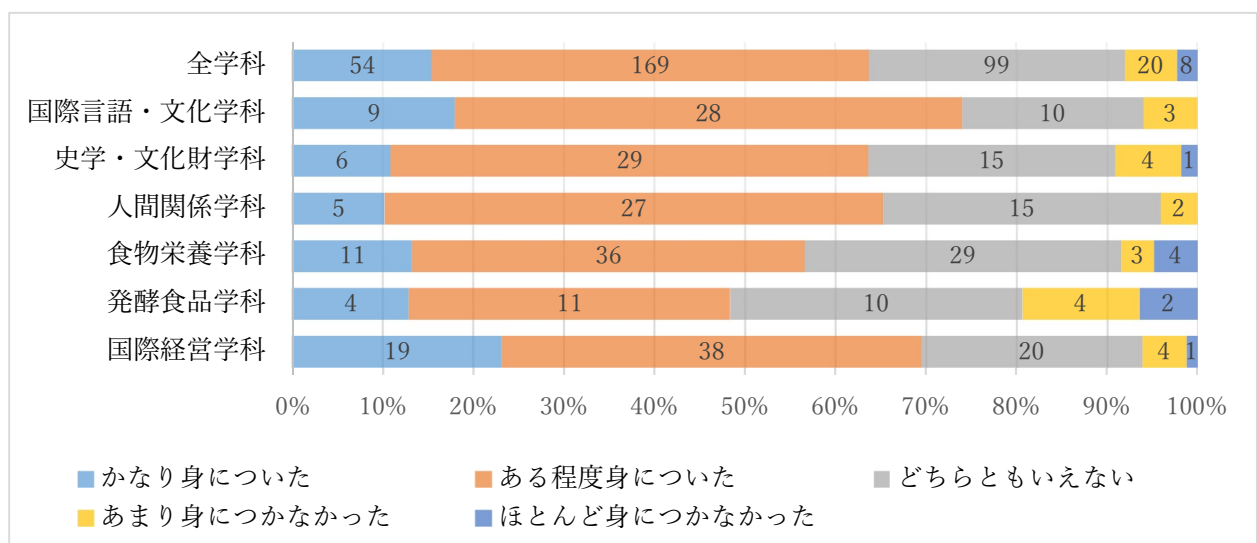


図2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する大学全体及び学科別の主観的修得状況について大学全体では64%の学生が、「ある程度身についた」と回答している。食物栄養学科は60%未満、発酵食品学科は50%未満の低い数値となっている。

(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図3に示した。

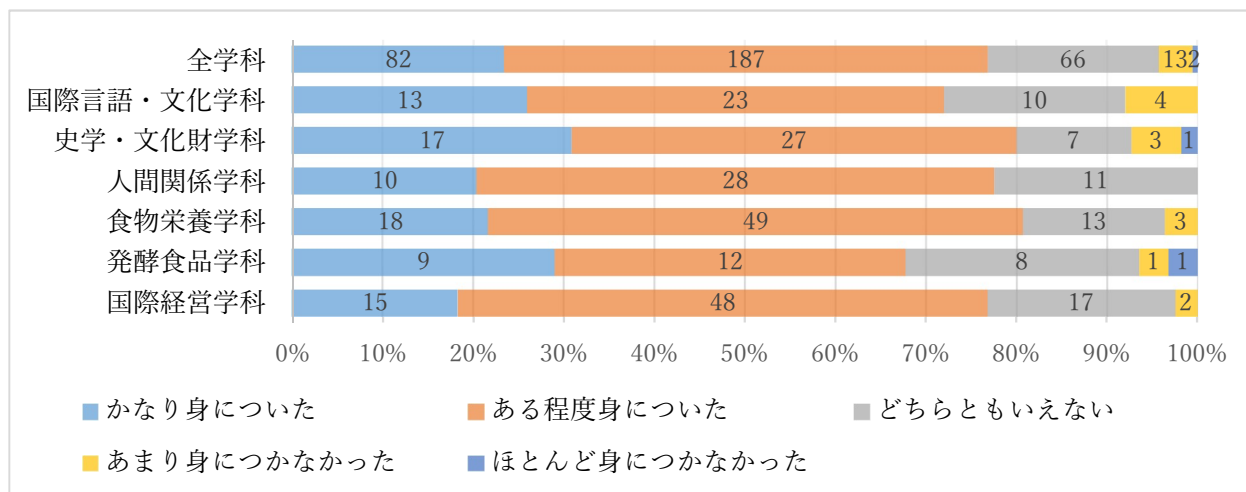


図3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価について、大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科では72%、発酵食品学科では68%とやや低い数値となっている。

(4) 人間と文化の探求に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図4に示した。

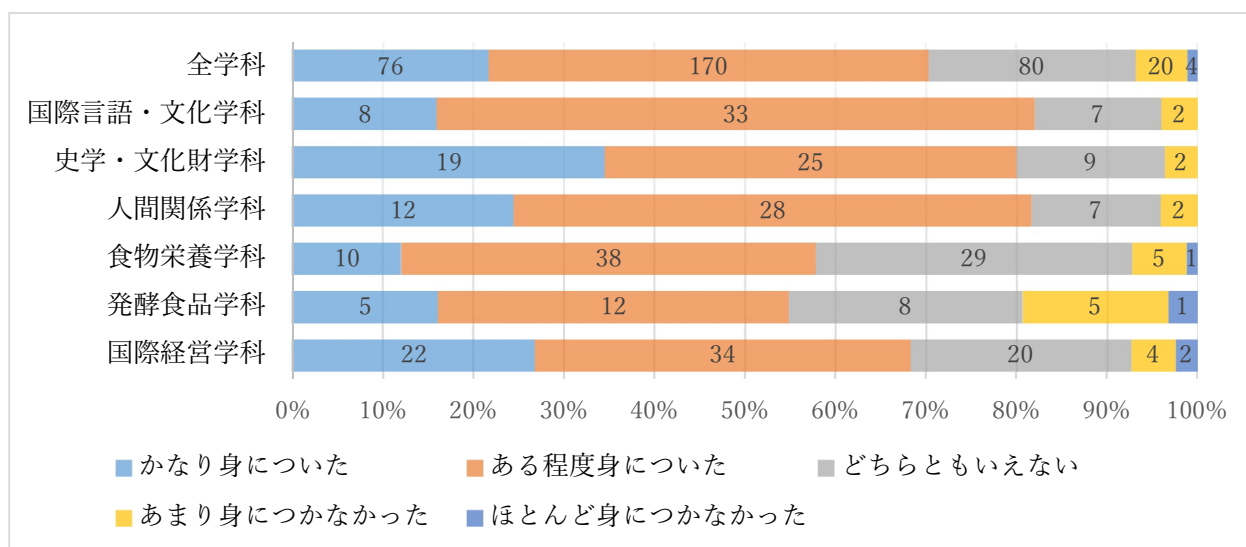


図4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 70%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科では 58%、発酵食品学科では 55%と低い値を示した。

(5) 現代社会の理解に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 5 に示した。

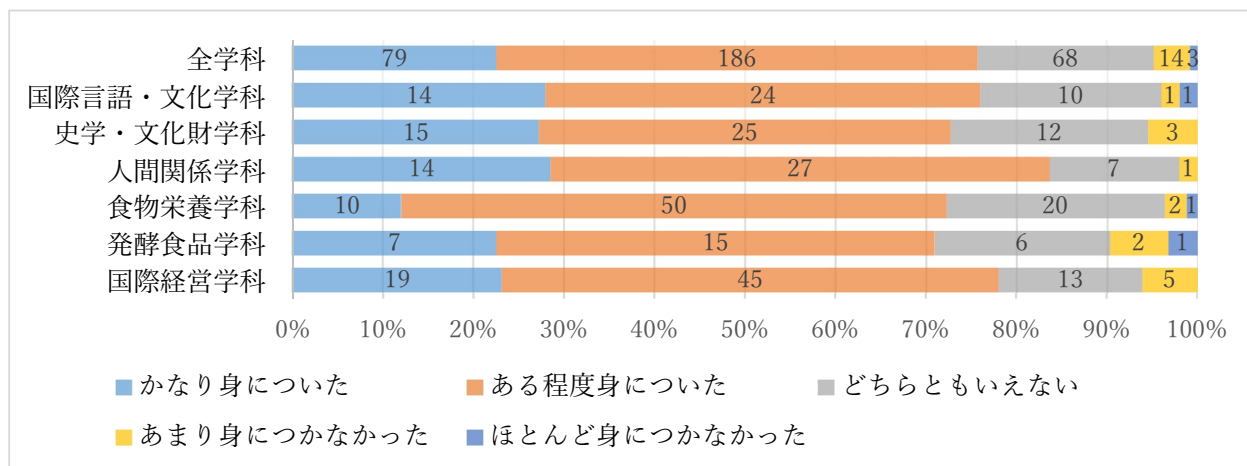


図 5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 76%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。史学・文化財学科では 73%、食物栄養学科では 72%、発酵食品学科では 71%、とやや低い値を示した。

(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 6 に示した。

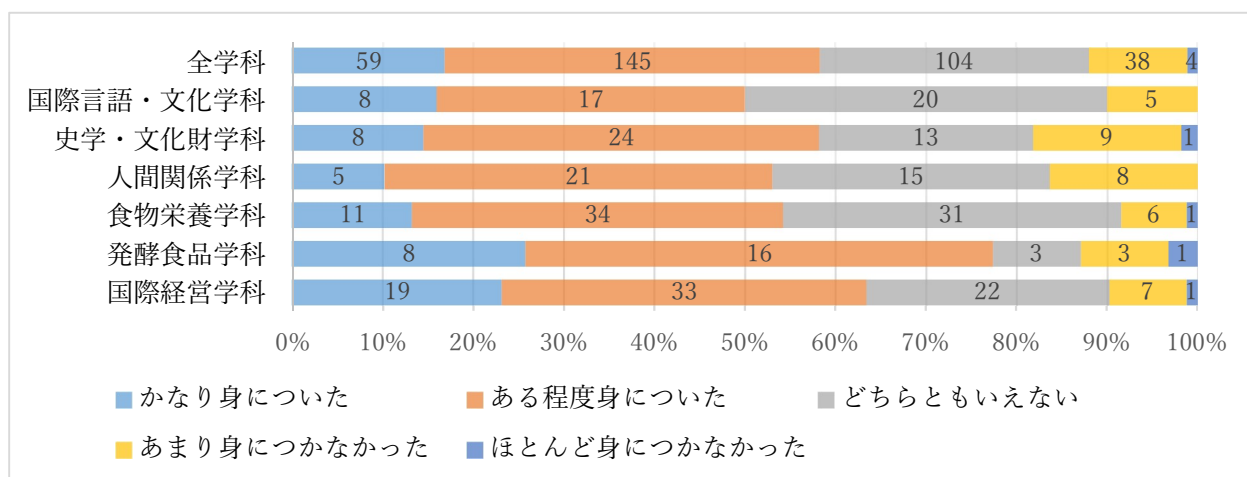


図 6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 58%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科では 50%、人間関係学科では 53%、食物栄養学科では 54%と低い値を示した。発酵食品学科では 77%と高めの値となっている。

(7) 情報処理の基本的なリテラシーの主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図7に示した。

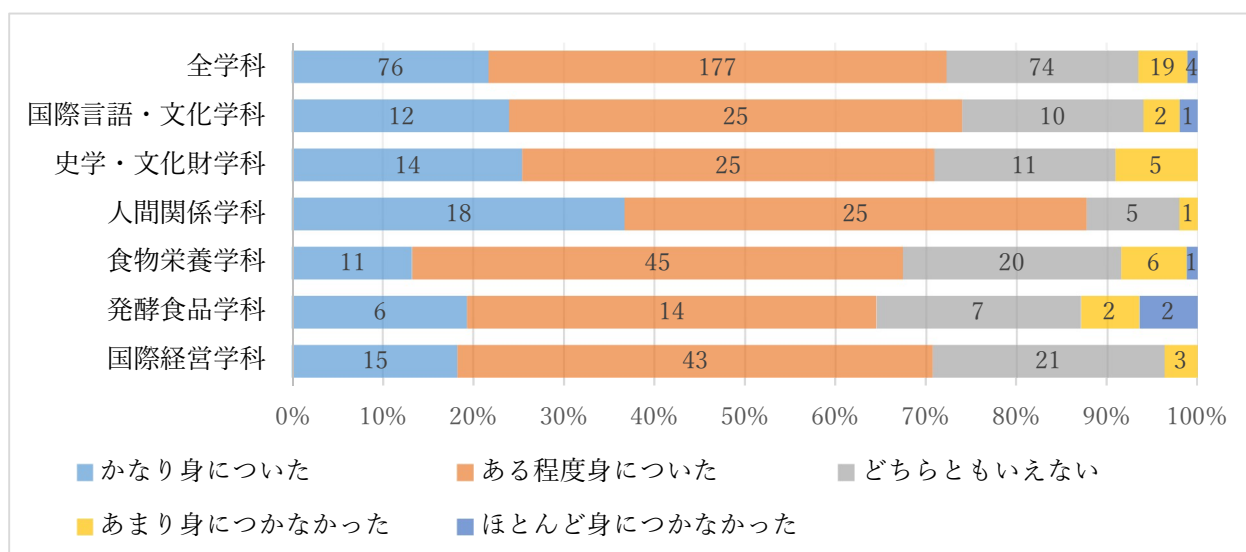


図7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーの大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 72%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科では 67%、発酵食品学科では 65%とやや低い値を示した。

(8) 英語の基本的なリテラシーの主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図8に示した。

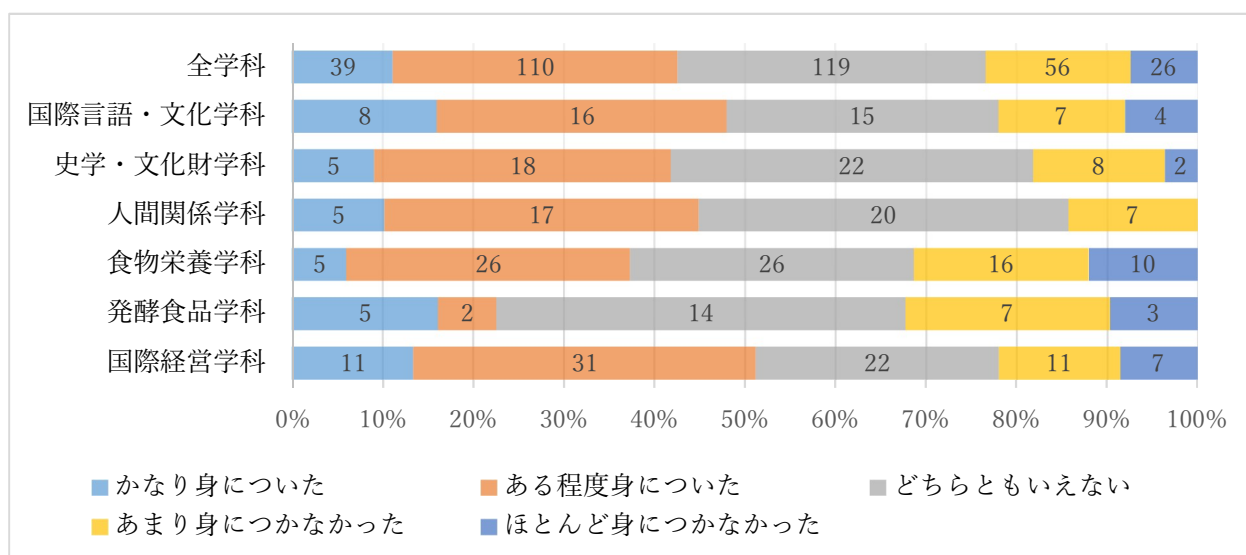


図8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーの大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 43%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科では 34%、発酵食品学科では 23%と低い値を示した。

## 2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の2点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図9に示した。

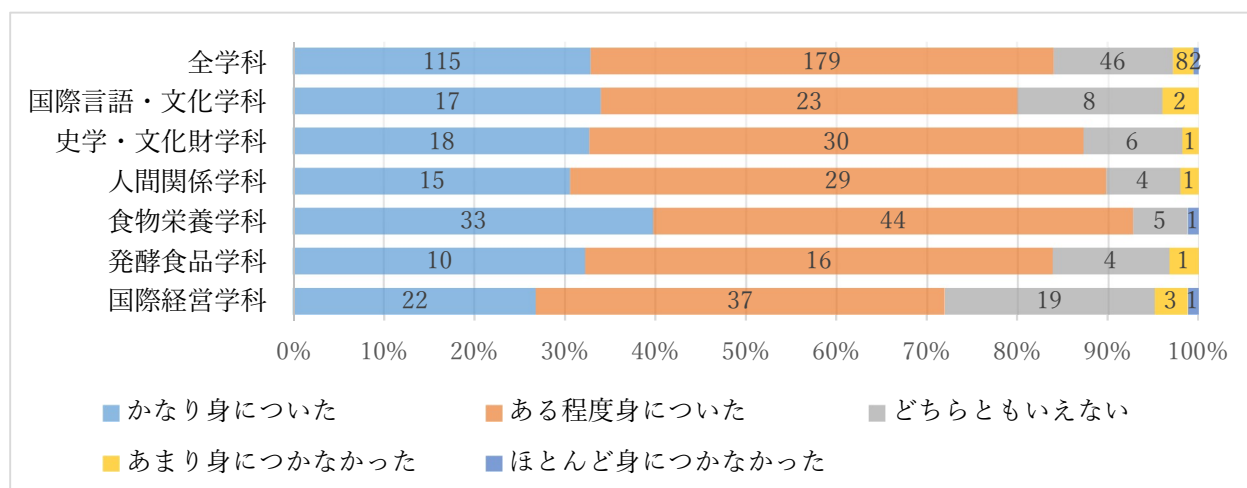


図9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では84%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科では72%と低い値を示した。5学科については80%を超える高い値を示した。

（2）専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図10に示した。

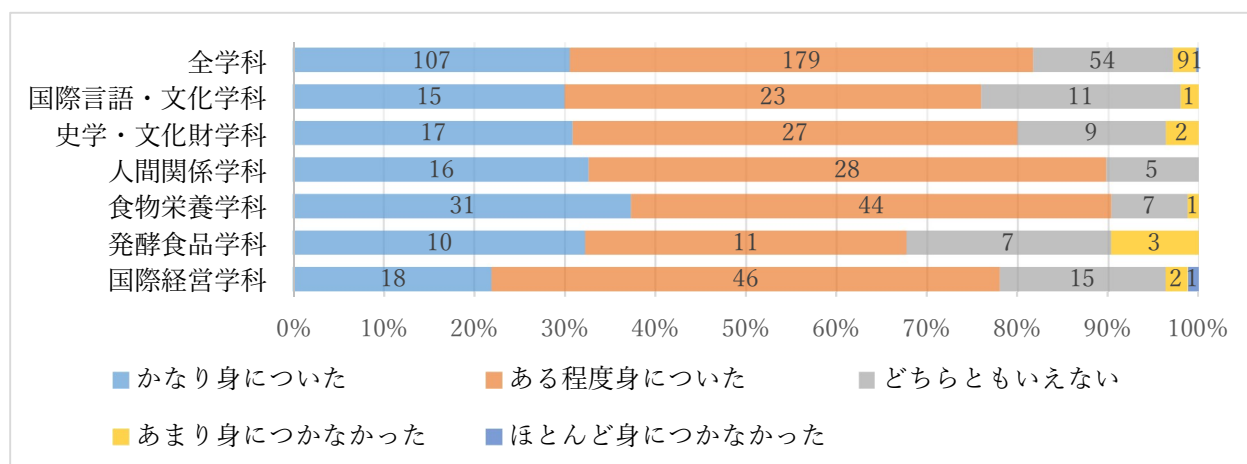


図10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では82%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科及び人間関係学科では90%に近い値を示したが、発酵食品学科は60%台と低い値を示した。



### 3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力について、主観的修得状況を質問した。

(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図11に示した。

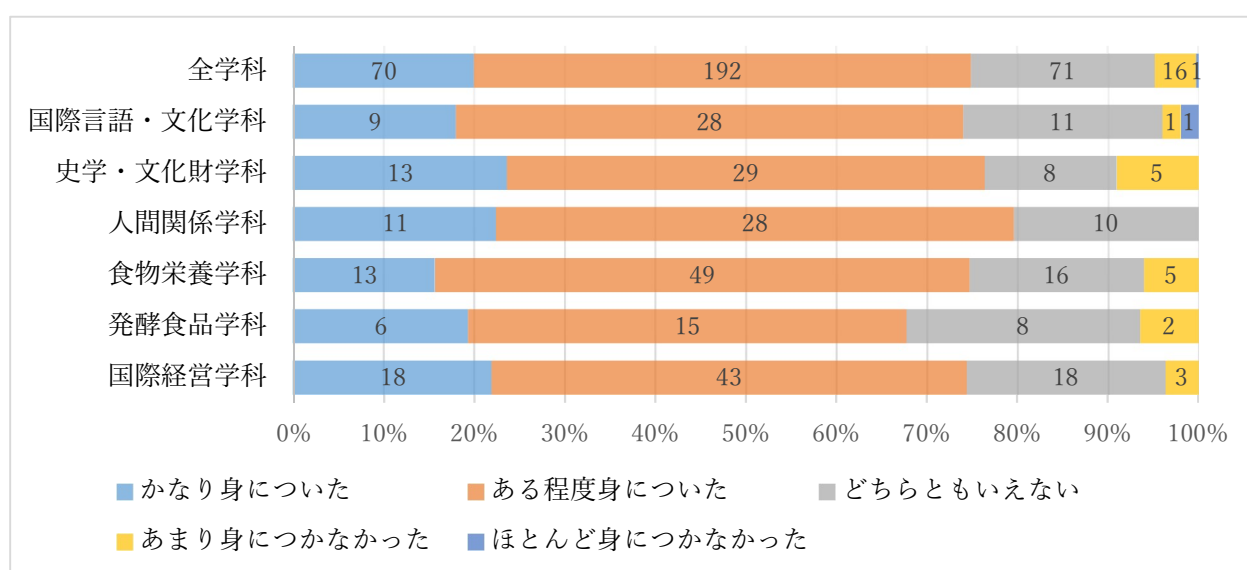


図11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では75%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。特に目立って低い傾向の学科は認められなかった。

(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図12に示した。

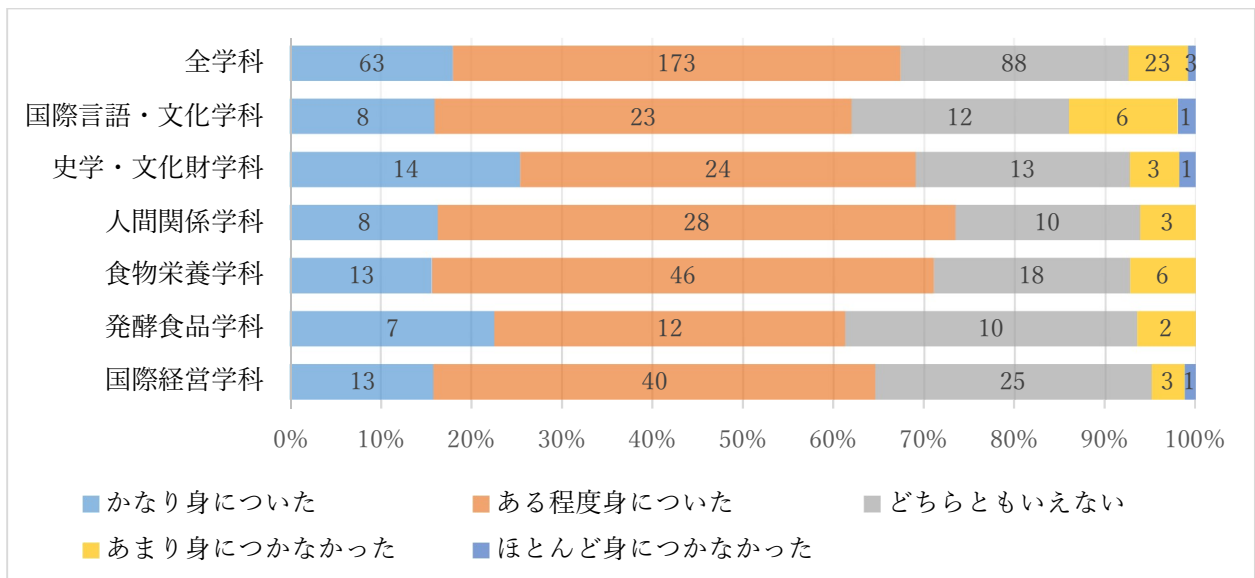


図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では67%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。特に目立って低い傾向の学科は認められなかった。

(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 13 に示した。

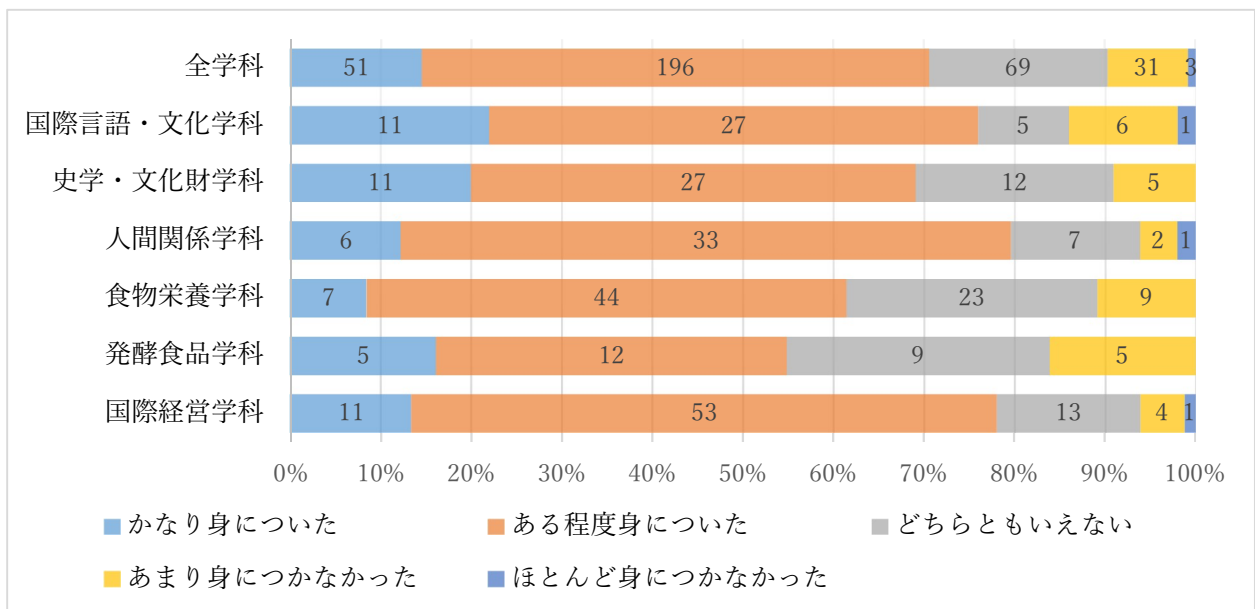


図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では71%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は55%と低い値を示した。

(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 14 に示した。

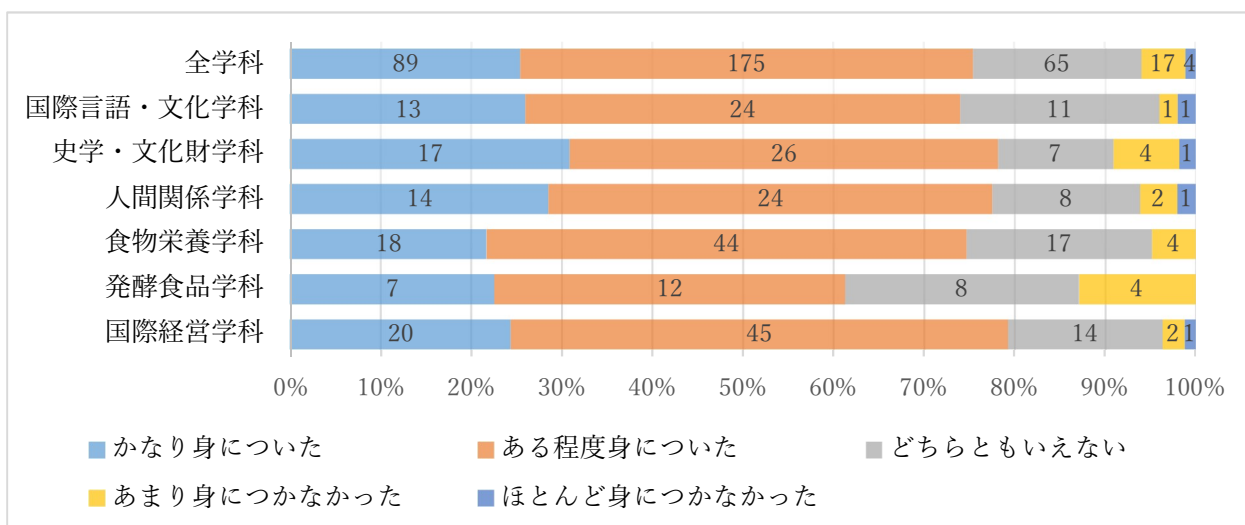


図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 75%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科だけが 61%と低い値を示した。

(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 15 に示した。

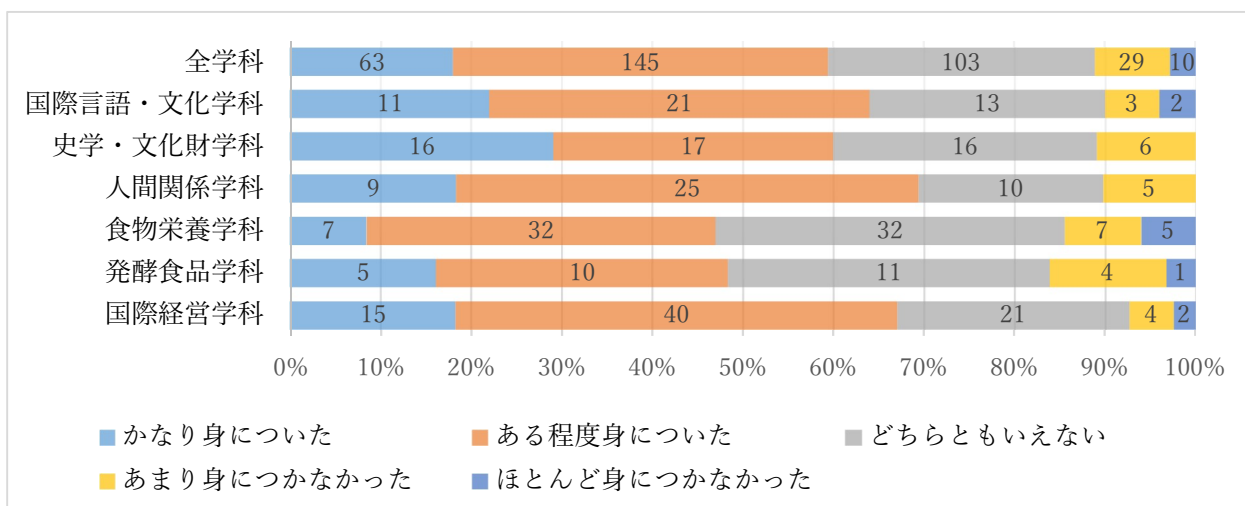


図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 59%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養科学科では 47%、発酵食品学科では 48%と低い値を示した。

#### 4. その他

その他として(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、(2) 卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備の満足度、(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見(自由記述)、(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験(自由記述)、(5) 卒業後の進路への満足度、(6) 大学で学びと自身の進路への貢献度、(7) 大学に期待すること(自由記述)、(8) 卒業する学科に期待すること(自由記述)、(9) 後輩へのメッセージ(自由記述)の質問を行った。

(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図16に示した。

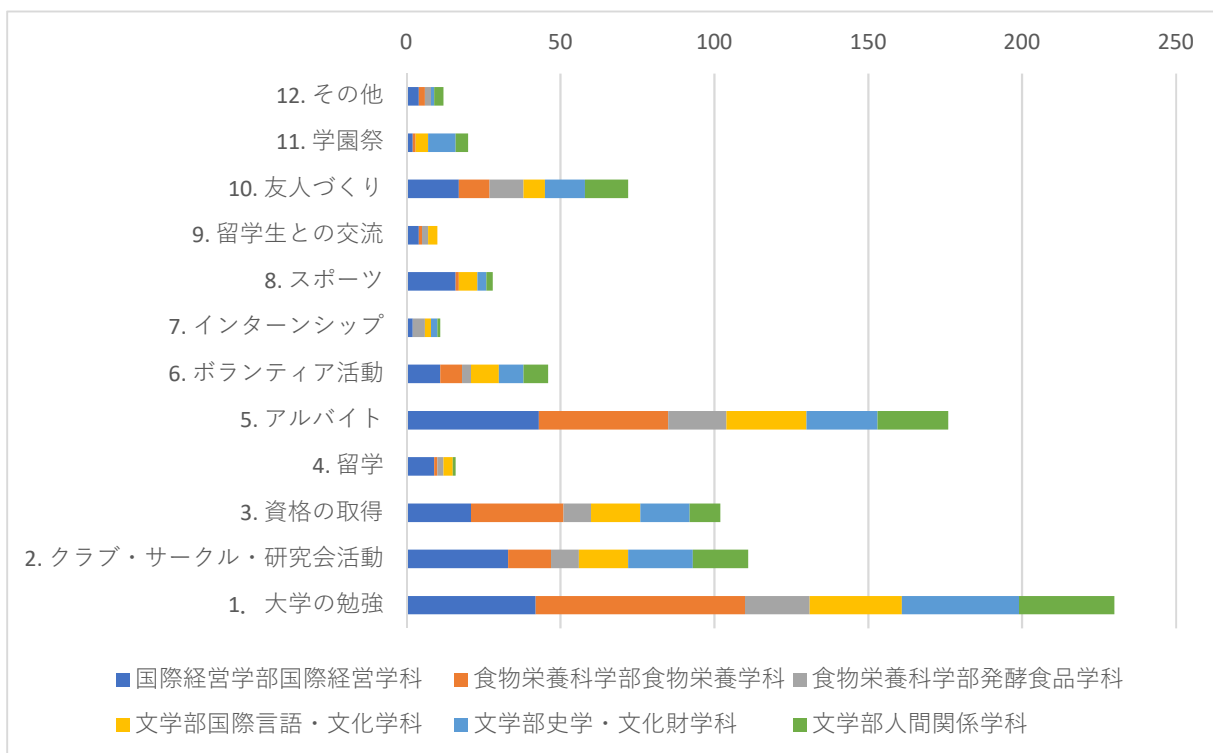


図16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

6学科を超えて、複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでアルバイト、クラブ・サークル・研究会活動、資格の取得、友人づくりの順にあげられた。一方で、留学やインターンシップ、留学生との交流などには経験者が少なく、また学科による偏りも大きい傾向があった。

(2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度についての集計を図 17 に示した。

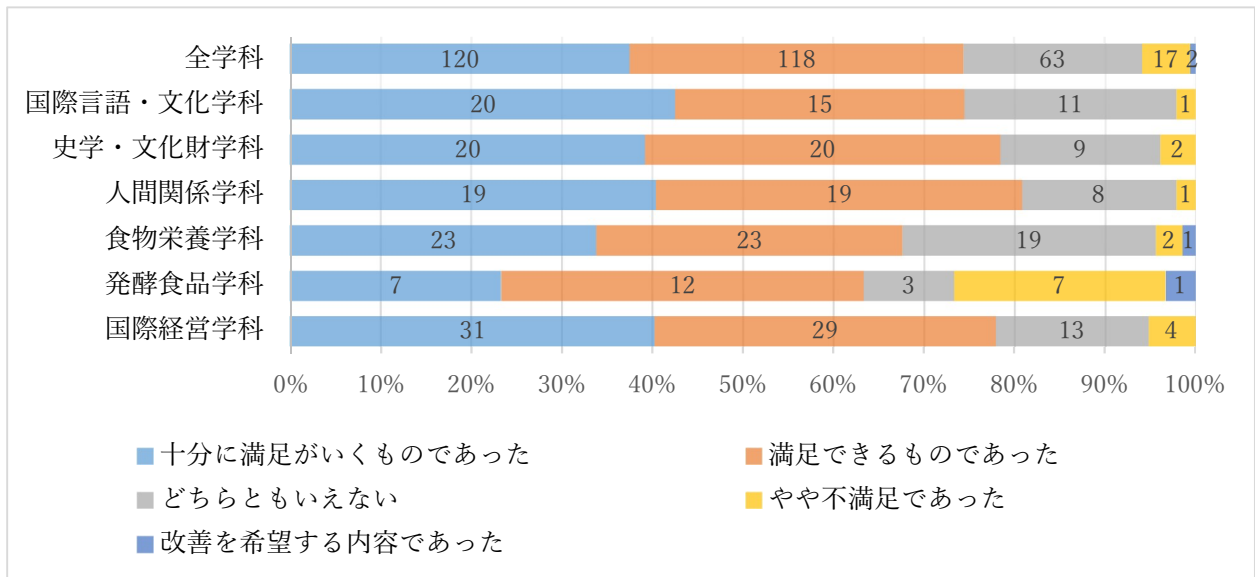


図 17. 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度

卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度については、大学全体では 74%の学生が、「満足できるものであった」以上で回答している。発酵食品学科では 63%と少し低い値を示した。

(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 18 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

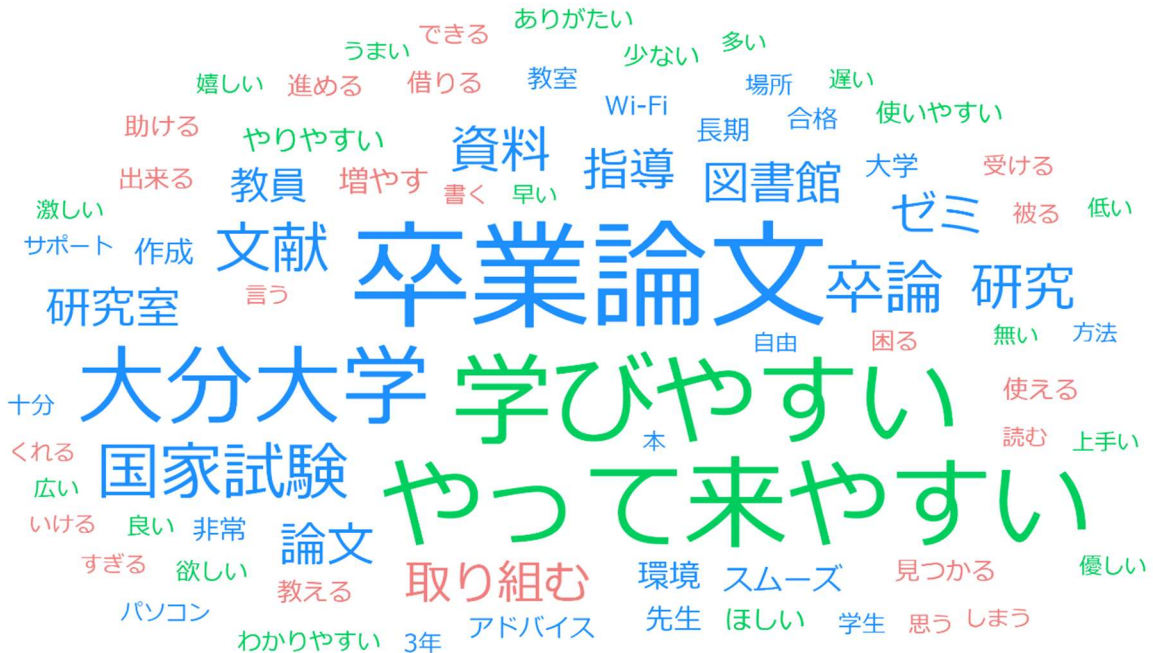


図 18. 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生からの自由記述にある、卒業論文作成における図書の貸し出しや大学の閉館時間などの課題や、教員の指導などが関連を持っていることが示される。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 2 として添付する。

(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 19 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

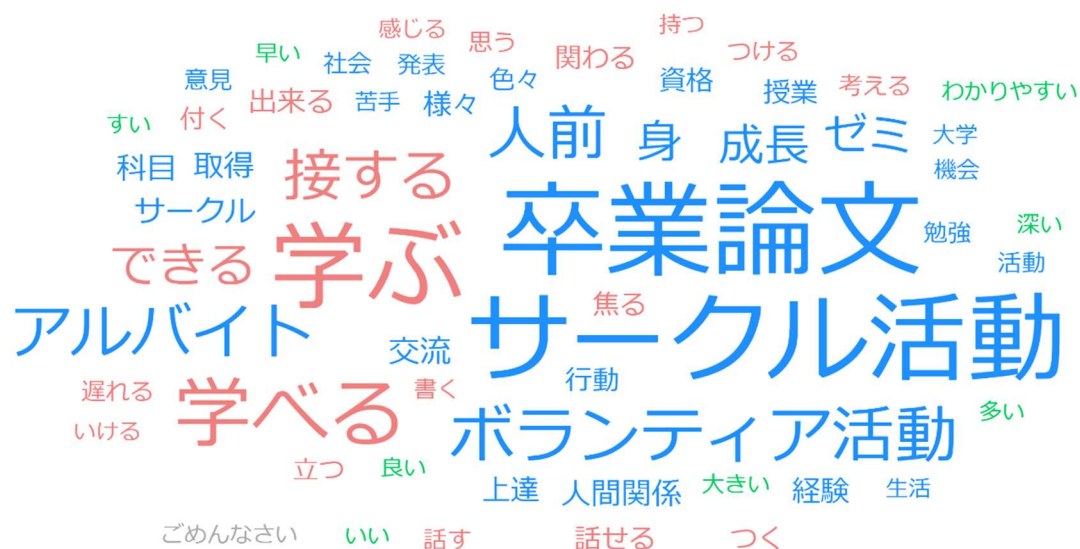


図 19. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述のワードクラウド分析結果

自分が成長できたと思う経験についての自由記述をワードクラウド分析した結果、サークル活動やボランティア活動など、様々な人々との関わりの中から学生の成長との関連が示された。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 3 として添付する。

(5) 卒業後の進路への満足度についての集計を図 20 に示した。

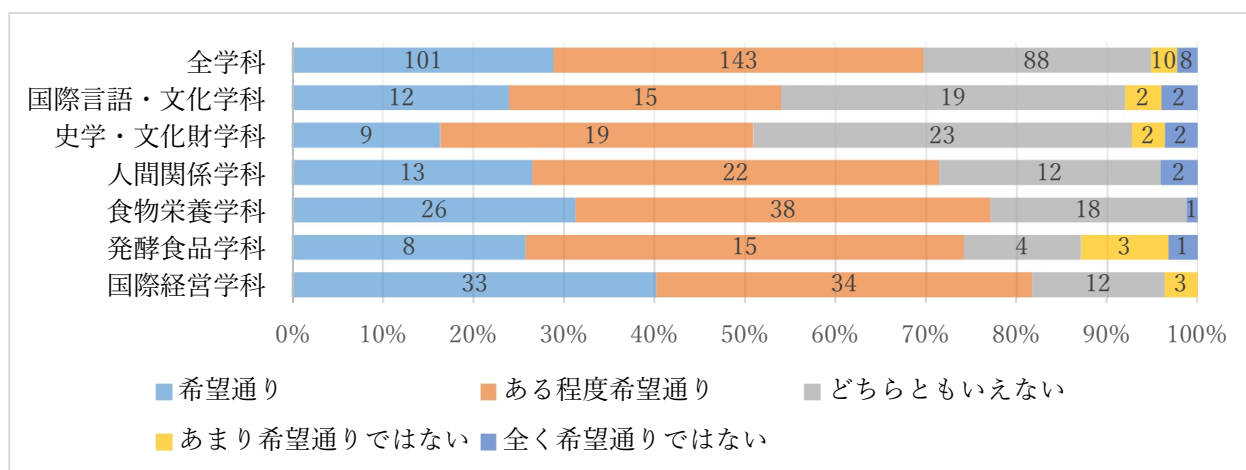


図 20. 卒業後の進路への満足度

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 70%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。国際言語・文化学科では 54%、史学・文化財学科では 51%と低い値を示した。

(6) 大学での学びと自身の進路への貢献度についての集計を図 21 に示した。

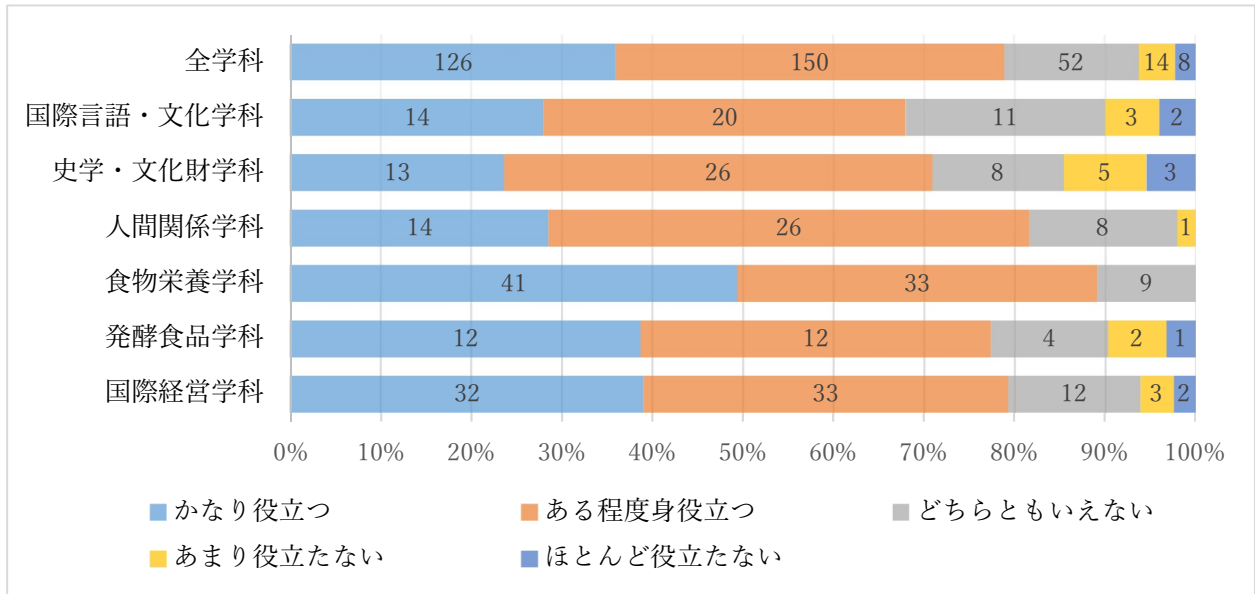


図 21. 卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備の満足度

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 79%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。

(7) 大学に期待することに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 22 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

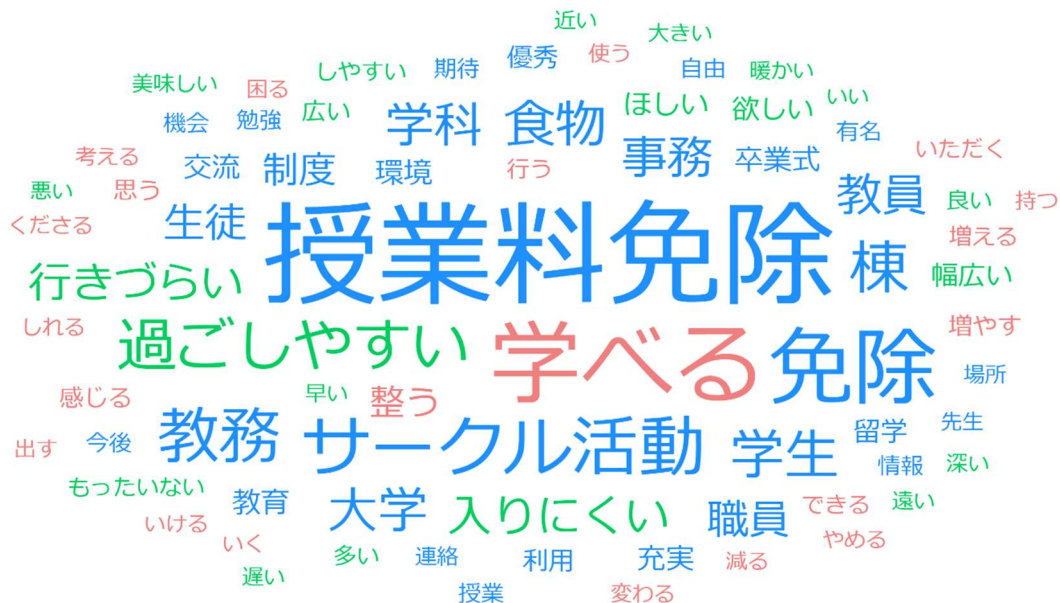


図 22. 大学へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生の記述にあるように、授業料免除など大学が検討すべきことが述べられている。

(8) 卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 23～図 28 に表示する。  
 (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

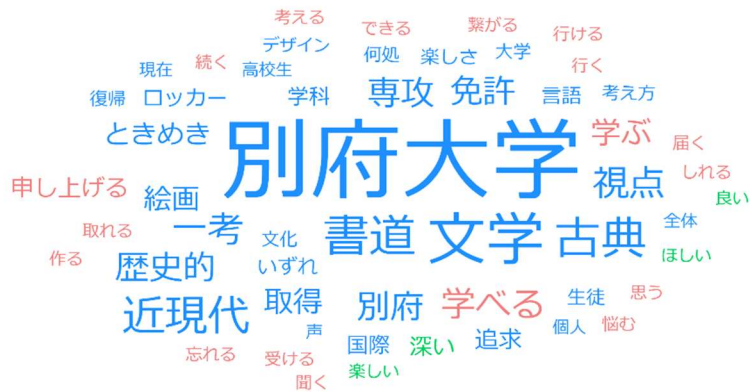


図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

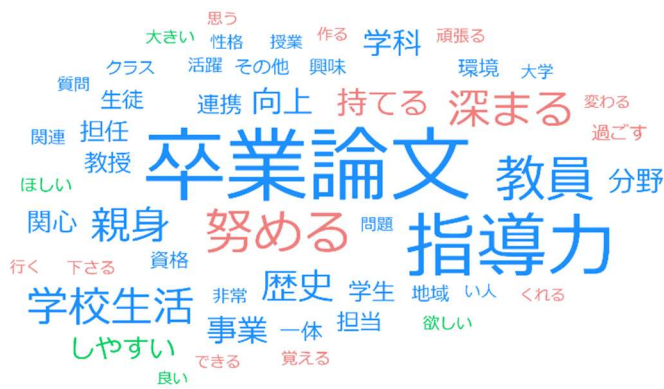


図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

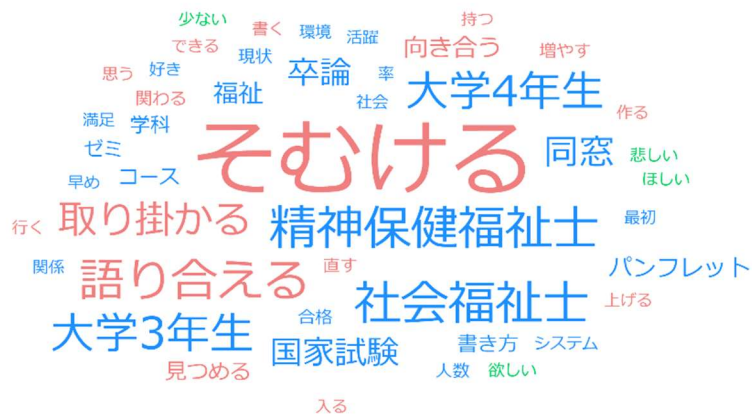


図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果



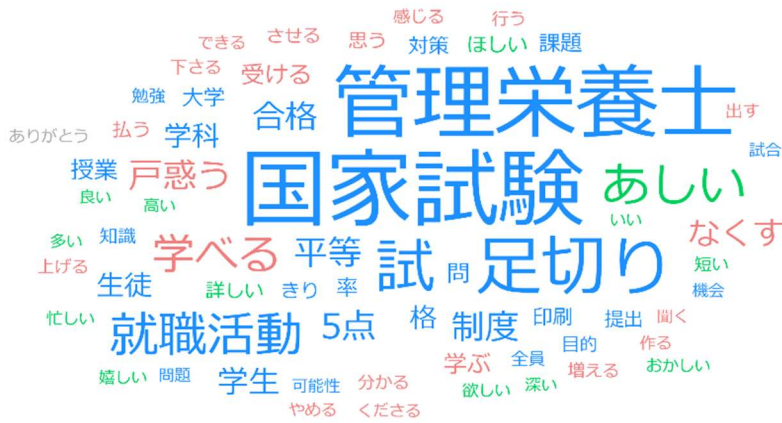


図 26. 食物栄養学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果



図 27. 発酵食品学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

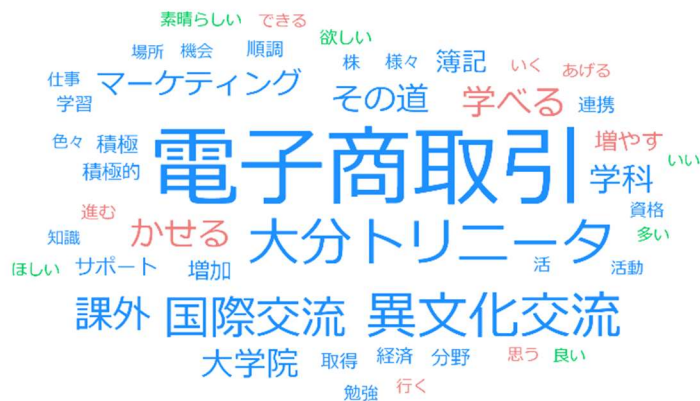


図 28. 国際経営学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

(9) 後輩へのメッセージに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 29 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

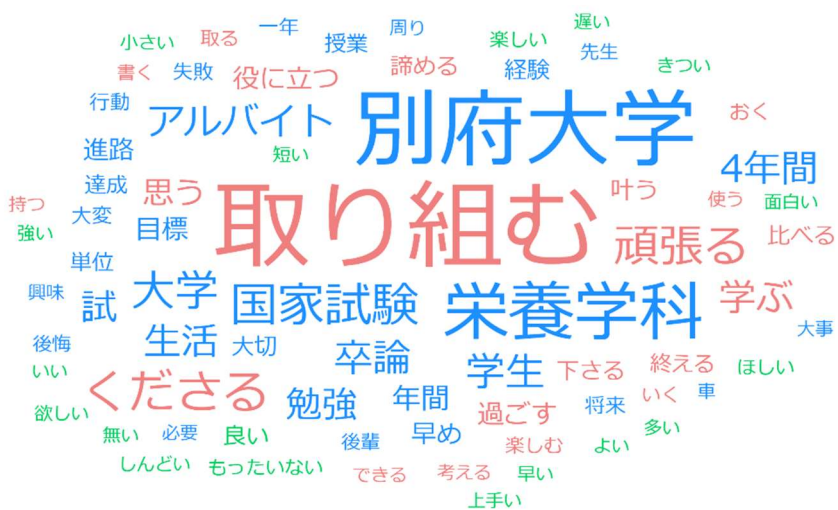


図 29. 卒業学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

後輩へのメッセージでは大学生活や、学科での学び、心構えや国家試験など多岐にわたるメッセージが得られた。

## 5. まとめ

別府大学では令和2年3月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2020年1月6日～3月24日を調査期間として、卒業時調査を実施した。

別府大学を卒業することが確定した学生401名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙またはwebどちらかの回答を求めていくことで回答率90%以上を目標とした。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答3問を含む9項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」、「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の5段階で回答願ひ、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する8項目についてはの主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養が身につきましたか」に対しては80%、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については64%、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については77%、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については70%、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については76%、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については58%、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については72%、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については43%という結果となった。

2. 専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては84%、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては82%の回答が得られた。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。」は75%、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働性、傾聴力などを含む）。」は67%、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については71%、「(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については75%、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）。」については59%の回答となることが明らかになった。

また、全体的に、専門力については高い値が出たが、教養にはばらつきがあり、特に科学技術と自然環境の理解、情報処理の基本的なリテラシー、英語の基本的なリテラシーについては、低い数値となっている。汎用力についても、情報力について低い傾向が見られる。この傾向は昨年度と同様であり、本学の学生が専門については非常に意欲的に取り組んでいることは頼もしい限りだが、一方で、

教育を受ける側も専門重視の傾向が強く、社会で必要な教養や ICT のリテラシー教育については既存の授業任せで、カリキュラムの見直しも行われていないことが原因となっていないかなど、検討が必要な問題である。各学科でも、4 年間を通したカリキュラムの中で、何か足りない部分はないのか、学生の生の声を反映したこの調査の結果を真摯に受け止めて議論を深め、改善に結び付けていくことが求められる。その改善により今後の継続的調査で結果を出していくことが本学の教育の全体的向上につながるのではないだろうか。

以上

資料1. 別府大学卒業時調査の様式

別府大学 卒業時調査

この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針 (Diploma Policy : DP) の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。回答は5件法で、かなり身についた (1)、ある程度身についた (2)、どちらともいえない (3)、あまり身につかなかった (4)、ほとんど身につかなかった (5) を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号..... 氏名.....

所属の学科に☑を入れてください。

- 文学部国際言語・文化学科     文学部史学・文化財学科     文学部人間関係学科  
 食物栄養科学部食物栄養学科     食物栄養科学部発酵食品学科  
 国際経営学部国際経営学科

1 かなり身についた  
 2 ある程度身についた  
 3 どちらともいえない  
 4 あまり身につかなかった  
 5 ほとんど身につかなかった

1. 教養 (人間性の形成に資する幅広い知識、技能)

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (回答例)→   | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| (1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。                                      | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。                                       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。                                       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。                                   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。                                       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

次へ

1 かなり身についた  
2 ある程度身についた  
3 どちらともいえない  
4 あまり身につかなかった  
5 ほとんど身につかなかった

## 2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

- (1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。 ○ ○ ○ ○ ○

1 かなり身についた  
2 ある程度身についた  
3 どちらともいえない  
4 あまり身につかなかった  
5 ほとんど身につかなかった

## 3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

- (1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○
- (2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○
- (3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。 ○ ○ ○ ○ ○
- (5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）。 ○ ○ ○ ○ ○

次へ

## 4. その他

- (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）。



## 資料2. 「(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」回答

担任の先生が親身になって相談に乗ってくれたり、図書館に資料が沢山あり良かったです。

図書館の本とか資料を増やして欲しいです。

飯坂先生は非常に面倒見が良く、いつも助けられていた。

読みたい本があっても、ずっと借りっぱなしで読むことが出来なかった

研究予算が必要見込み

毎回パターン化されていて自分たちのオリジナルの研究ができたかと言われれば分からない。

場所があまりない

先生方のサポートがあり、自分達なりに研究を進めることが出来ました。

特にありません。

特にありません。

自由に使えるコピー機がほしいと思いました

平川史子先生はお忙しい中、とても丁寧に卒業論文をみて下さいました。本研究室は、3年の時点で調査を終え、四年で論文に取り組むという流れで、卒論に時間をしっかりかけて取り組めるので環境にとっても恵まれていたと思います。

研究室の部屋を広くして欲しい

ありません。

なし

特にありません

大分大学では、国家試験を受ける人は卒論の免除があると聞きました、大分大学より合格率が遥かに低い別府大学でも必要だと思います。別府大学には卒論を書きに来たのではなく、国家試験を合格するためにきたので4年生という、国家試験に専念しないといけない時期に卒論の存在は非常に国家試験の勉強に影響を受けました。もう遅いですが、後輩の将来のためにもこの意見を参考にして下さればありがたいです。

卒業生が本を長期貸し出しできるようになったのは嬉しかった。

なし

特にないです

とても優しく教えてもらったので上手く出来ました！

論文作成時困った時にゼミの先生の的確なアドバイスがありスムーズに作成することができた。

特にないです。

特になし

なし

大学の棟が早めに閉まってしまうので、もう少し開けていてほしい。

担当教員が変わってしまうのは、卒業論文を書くにあたって支障が出た。

図書館の本は少ない。

特にないですが

自由に書くことが出来たので自分の興味のあることを調べることができた。

教室の椅子が壊れていたりした(311教室)。また、ゼミであるので、机や椅子が可動式の方が円滑に行えたのではないかと思う。



また、指導教員がまともに指導をしてくれなかったことが、残念である。学生とのコミュニケーションを適宜取ってほしいと思う。

欲しい資料がなかなか見つからない、図書館にない場合が多く資料集めが大変だった。また見つかったも長期で貸出中で返って来なかった。

研究を進める上で、学びやすい環境がととのっており、理解が十分に進んだ。

特になし

なし

なし

大学を 24 時間開放してほしい。

卒業研究は今までと違った日本の農業の現状と課題について取り組んでいます。

実験をする際に個室みたいな空間を使えたら良かったなと感じました。

先生との交流がうまくやりました

特になし

研究環境は、とても良かったです。

満足しました。

特になし。

見本を配って欲しい

卒業論文や研究に関する資料などをもっと増やして欲しいと思います。

特にありません。

水道があるとありがたかったのと、動物の菌を使える環境があるとよかった。

特になし

棚や収納などがなさすぎる。

特にない

先生が全面的にサポートしてくれたので

とても良い環境ですることが出来ました。

なし

卒業論文に関して教えられてことをやっているのが当たり前のように、卒論発表の直前に言ってきて、とても困った。

研究環境に関しては特に問題はないと思いましたが、卒論の作成方法や提出方法をもう少し明確に教えて頂けるとよりスムーズにできたと思います。

とにかく大学の Wi-Fi の速度が遅すぎる。これをまず最初に主張した際に、大学の事務の方は無線での Wi-Fi 接続をしていない為、また学生がいろんな場所でパソコン使用するという想定をしていないのがよくわかる。それほど場所によって差が激しすぎる。以上

特にありません。

研究室配属をもっと早くにすべき

無理難題を押しつけられることがなかったため、とても研究に集中できました。

振とうインキュベーターが追加で 2 台ほしい

なし

添削など度々見直してもらえた

もう少し学内で卒論をコピーできる場所を増やして欲しい

特になし

論文の書き方など早い段階で指導がほしかった

勉強になりました

世界史コースだと文献資料(日本語文献、和訳文献)が少ない。テーマが被ると文献を借りられない。

上野先生のゼミでは、非常に目標をはっきりと教えてくださり、そのため的手段など、わかりやすく導いていただいた。とても助けられ、支えられた。

特にないです

学校にある専門資料が少ない

なし

特になし

十分なアドバイスが得られなかった、

あまり指導がなく、自主的に指導をお願いしないといけなかったので、論文の仕上がりに差ができるかもしれない。

就活時期と研究開始の期間が被っていたので3年次から準備などが出来ると良かった。

特にないです。

ネットが使いやすいようにしてほしい

ないです。

ゼミ先生のおかげで卒業論文がうまく行けました。

特になし

ありません。

探している資料が、図書館に無かったり、そのシリーズだけ抜けてたりしているため、資料収集が不便である。

ないです。

特になし

ラーニングコモンズは友人がやって来やすいので、やりやすかった。相談なども互いにした。

パソコンを充電するためのコンセントの数が足りなかった。

特に無し

### 資料3. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述

大学に入りサークル活動や学校の授業、大学祭の実行委員を経験出来たりと学業ではなく、人間として大きく成長出来たなと思いました。また、色々な方々とお話できる機会や、触れ合う機会があり、コミュニケーションを学ぶことが出来ました。

特になし

権力には勝てないということを学ぶことができました。

特になし

アルバイトの接客を通じて、様々な人とコミュニケーションをとることができるようになり、失礼のない対応を心がけるようになった。

国外研修では、日本にいたら絶対出来ない体験を経験することができたので、学べるが多かった

英語が苦手だった自分が英語文献を読むことになって読めるようになったのは成長を感じた。

留学にいき、英語力が成長した

トビタテ留学 JAPAN110 周年記念式典夢米棚田プロジェクト

精神保健福祉士国家試験受験資格のための実習とその後の実習報告会

コミュニケーション能力

勉学に対する姿勢

1型糖尿病患者サマーキャンプに3年間参加し、3年目はリーダーを務めた。疾患について、給食管理業務についてなど、様々な事を学ぶことができた。医師や看護師、教師を目指す学生との交流ができたり、医師や看護師と接する機会もあり、たくさんのかことを学ぶことができた。

自分が生きていく目的がわかってそのために今何すればいいかわかったこと。

資格試験に向けて、日々勉強するなかで精神力や継続する力を身につけられたと思います。

班での活動を行う機会が多かったためコミュニケーション能力や意思疎通の重要性を学ぶことができました。

放課後学習ボランティアの参加。民具の整理。

湯けむり健康教室

勉強だけでなく、アルバイトやボランティア活動の両立ができたことが私にとってとても良い経験になった。複数のことを同時に行うことで、物事に優先順位をつけることができ、仕事のやり方を学べた気がした。

計画性をもって早めに取り組むことができたことや、資格取得のために努力する力がついたことが成長できたと思います。

教職課程がとてもためになりました

4年間でたくさんの人と関わり自分のためになることを十分に学ぶことができた。

国家試験の勉強に意欲的に取り組めた話す力、聞く力、コミュニケーション能力を養えた

人前で喋る力がついたと思います。

自ら行動出来る力が身についた

アルバイトで接客を経験したため、普段の生活でも人と話すことが億劫でなくなった。

勉強

留学

人前に立つ事が出来るようになった。

BBS に所属していました。ボランティア先での大人の付き合い、様々な状況に置かれている人との付き合い等他では

出来ない体験ができたので良い勉強になりました。今では相手の立場になって考える事ができるように多少はなったので、人間関係でイライラする事がすくなりました。

色々な人がいることを知って、自分と合わないと思うような人も受け入れられるようになったと思います。

転科を決めたこと。自分の将来について早い段階で考えて決断できたことに関して、今後もいかしていこうと思った。そして、その考えを周りに共有して、意見を求める勇気も同時に持つことができた。

サークル活動で幹事を務めたこと！

社会中の基本的な技能と知識がかなり身についた

卒業論文やレポートなどを通して文章を構成する力や発表の仕方などに関して成長できた。資格取得を目指して自学自習の時間が増えた。

先輩後輩の礼儀やマナーが身に付いたと思います

人として成長出来た

目標を達成するために試行錯誤する力

アルバイトで親のありがたみを知り、剣道で精神力などを鍛えられ、勉強でいろいろなことを教えられたなと思います。

考え方も育った環境も全く違う人達と話す中で、改めて自分の他者との関わり方を見つめ直すことが出来、良い方に成長出来たと思っています。

自らやりたいこと興味を持ったことに積極的に行動を移していけるところ

自助、自立が、より身についた

サークル活動やアルバイトなどを通して自身の価値観や周りの価値観の違い、そこから学べたことは多くありそれらの人と関わり学ぶ経験が成長に繋がりました。

たくさんのボランティア活動に参加する

なし

日本語が上手になりました。

集団が苦手な何かをするとき自分からは行動できなかったけれど、3年生になって新たなゼミに変わった時に、ゼミ長になったり卒業アルバム委員会の委員になるなど自分から積極的に行動することができました。

クラスの人と協力して企画や実験を進めたこと。

対人交流が増加したためコミュニケーション能力が向上した。

論文を書くのは自分にとって一番良い経験でした。

人前で話すことや自分の意見をしっかり発表すること、それらを伝える力を養えた。

自分の力で考えて動く力を身につけることができた。

サークルやスポーツ振興会の役員、学科の勉強会の会長など役職を持つことで、責任感やリーダーシップ力を身に付けることができた。また、教職の授業や司書の授業において、グループで考え意見を述べる、協働性が身に付いた。そして、総合ゼミの授業を1年間行うことで、コミュニケーション力やプレゼンテーション能力などが身に付いた。大学での単位取得や資格の取得に向けて、自ら勉強を進めることの大切さを理解し、専門知識を深めることができたこと。

事件ではなく、社会問題、政治などに少し興味湧いた

学校での実験

サークル活動により、上に立つことで見えることが違うことを学んだ。授業や、研究室から、学ぶことの楽しさを知ることができました。

地域の社会人との交流。ダイバーシティ感の習得。

私は、大学生活良かった点は、色々な意味でも教養科目を身につくことができました。今まで苦手だった課題もレポートがあったおかげで良かったと思います。

人間性剣道技術

専門科目を学べたこと。

日本語が身につけました

人間的に成長できた

ゼミにおいて、リーダーシップを発揮出来たこと

サークルに所属し色々な人と関わる事でコミュニケーション能力のレベルアップに繋がった。

勉強しながら、バイトをしてるから、学習能力が上達し、日本語も上達しました。

簿記の資格を取ったことで、会計分野に関することが少し把握できた気がした。

特になし。

集団活動

サークルでたくさんの方と交流した時です。

コミュニケーション

自分の考え等を相手にわかりやすく伝えることが出来るようになった。

自分の感情を冷静に考えて第三者的視点を持ち人と接する、また諸々行動する事ができるようになったことは様々な事に活用していけると思います。

周りを見て動けるようになった。

醤油・味噌業界に携わる方々との交流が何度かあり、人脈が広がったこと。

特になし

ゼミ長や、OCのスタッフなどをして人前に立って発言することを学びました。普通に生活していたら身につけられないことも多く、今後社会で活かしていけることが多かったです。

行政や医療現場の管理栄養士の業務を実際に経験させてもらい、地域住民の方や患者様と接することで管理栄養士の責任の重大さを実感することが出来た。

勉強をする習慣を身につけることができたり、サークルでの上下関係の大切さを学ぶことができ、成長できた。

人前で何かをすることが苦手な性格であったのですが、サークルやゼミの発表等で、それが多少は克服することができたと思います。

特になし。

卒業論文作成、就職活動、サークルのボランティア活動アルバイト

人間関係学科では、情報リテラシーが1年の必須教科で、ブラインドタッチができるようになったのは2年以降のパソコン授業で役に立ちました。4年間を通して、自分で学習する力や、自分の壁・苦手意識と向き合えたので充実していたと考えます。

アルバイトやサークル活動、就職活動の中で社会での礼儀やマナーが身に付いた

インターンシップ先での活動

先輩、後輩、同級生、先生との接し方です。

文章を書く能力

通訳バイトが出来た。

たくさん人と話せたこと。

自分の意見を言うことが少し増えた

いくつもの絵を描いてきたこと。

進んで普段やらない活動に挑戦したところ

社会にでていける心構えなど人として成長できた。

公開授業の時に、感想が言えた事です。

寮生活における後輩への指導など人間性の成長。

人見知りせずに人と話せるようになった。

人前で発表する力話す力がついた

コミュニケーション能力が上がった

研究会のFW

特になし

文化祭（さつき祭）の実行委員を経験させていただけたこと。

たくさんの方との関わりを持つことで、コミュニケーション力や臨機応変に対応する力をのばすことが出来たことで

す。

何事にも焦らずに臨機応変に立ち振る舞う事が少しは上達したと思う

在学中にどんどん知識を積み重ねて、思想が成長していて、未来の方向もはっきりしました！

より深く経営について学ぶことができたし、自分のとりたい科目も選ぶことができた。

友達との生活や社会人になるための準備ができたと思います。

目標を設定して実現することです。

特になし

プレゼンテーションをする時にあまり緊張しなくなったこと。

授業等で他の同学年・他学年の生徒との討論・意見交換でコミュニケーション能力が成長できたと思う。

ないです。

人前で話せるようになった。

一人暮らしをすることによって、掃除、洗濯、自炊などの生活能力がみついた。自分でお金を管理するので、金銭感覚なども変化した。自己分析を良くするようになった。タイピングができるようになった。

悲観的に考えることに気づいて、反論する努力をしている事です。今も、投稿に遅れて、「怒られる」と思い込んで焦って書いてますが、遅れたことに焦っても過去に戻れません。そこで、遅れたことに関しては、自分で責任をもちます。怒られたら、ごめんなさいと謝ります。以前は、焦って動揺して、忘れようとしてきました。今では、今やることをやっています。

大学生活においてさまざまなことを経験することで物事において自己判断をきちんと行い行動できるようになったこと

人間関係

授業での発表や、アルバイトでの人間関係

卒業論文を書いたことです。テーマが自由であった分、自分が選択したものに責任を感じたりプレッシャーを感じたりして、深く追究することができたと思います。

卒業論文での文章構成力の向上、アルバイトでの主体的に行動できるような思考力

専門的な知識が身につきました

人と関われるようになった

#### 資料4. 大学に期待することに関する自由記述

喫煙所を無くさないでください。

喫煙者がマナーを守らないのは悪いですが、そこで築く人間関係もあるので貴重な場所だと思います。”

特になし

もっと大学は自由であると期待していましたがそんなことはなかったのもっと自由にした方がよいと思いました。

ない

地域に根ざしたアナログ的な教育

サークル活動の充実

先生と学生の距離の近さ

ない

本学の理念に基づいた人間教育。

人は考えで生きていくから、その根本を学生の内に教育しておかないと、社会人になった時に苦しむから。

資格試験の本や、専門分野の本が増えるといいなと思いました。

探究心を持って自分の学びたいことを学べる環境、機会がたくさんあると良いなと思います。

なし。

カフェテリアなどもっと充実してほしい。

災害の時、休校の連絡が遅いので電車を利用する人は大変だからもっと早く連絡してほしい。

学生の自主性を高めること。

卒業式の会場予約はその年の卒業式が終わった瞬間に次年度の卒業式の会場の予約をとったほうが良いと思います。

自分がやりたいことをしっかりと学べたから

食物棟設備の充実。

エレベーター。

車椅子利用者でも利用できるようにしてほしい。

なし

多くの外国人であふれる国際的な別府であり、海外からの留学生もいるのに国際的な取り組み、交流、留学経験等、身近に感じるができなかった。また、留学などの体制が整っていないことがとても残念だった。留学生をサポートするための組織づくりなども行われてほしいと思う。また、石垣際はサークル所属の人しか楽しめないようなものだと感じた。他大学に比べると中高で行ってきた文化祭とあまり変わらず、大学ならではの雰囲気を感じられない。

特にありません

国家試験の合格率を上げること。

キャンパスもこじんまりしていて、利用しやすいと思います。食物棟の4階や発酵棟の1階・4階は少し入りにくいですが、Wi-Fi環境も整えられていて良いです。入学当初は喫煙所が敷地の真ん中にあるのが嫌でしたが、場所も移動され、今後禁煙になるそうなので、改善されていていいと思います。今後もより良い環境になるよう期待します。

カリキュラムでは、外国語をより実践的に学べたら良かったなと思いました。

2つの学科に所属してみたことは『生徒のやりたいことをよく考えてくれる先生が多い』ということでした。

当たり前なことなのかもしれないけれど、やってみたいことがたくさんある私としては本当に助かりました。先生だけでなく大学全体で、生徒の求めることにより密着して応じていけるようになってもらえたら、より素敵な大学になるのかなと思います。

授業の休講連絡に対する連絡網をきちんと欲しい、遠方から大学にきて突然今日休みでしたでは時間もったいなさすぎる。また四年になると就職活動、卒業論文等で大学に行く機会が減りそうした中で大学内に掲示してあるからと言うのでは困る！

友達作りたい

集中して勉強したい時に、区切りがある自習机が増えると良い。

今後もサークル活動を暖かい目で見守ってください

お願いします

とくになし

剣道で有名人を出すこと

特になし。

あらゆる能力を育てることができる環境づくりを期待しています。

自分は成長できること

なし

特になし。

成績優秀者の学費免除、または半額免除

図書館の保管する本棚の増加

それに伴う図書整備

ボランティア活動機会の増加

教員の指導力の向上と、事務職員の研修を行うなどするべき。特に事務職員（教務課や学生課）は、対応が不適切な人もおり、学生が嫌な気持ちになることが多かった。そして、戸締りに来る教務課の職員の中に、態度が悪く学生のことを分かろうとしない人もいるため、教員だけでなく、事務職員研修の努めてほしい。もっと、学生の声に耳を傾けていただきたいものだ。

個室のような勉強スペースがあるともっと良い

成績優秀者には1年に1回5万円あげるのではなく、授業料免除でもいいのではないかと。たとえ親の収入があったとしても、授業料の負担は大きいし、免除制度が無いことを他大学の人から驚かれる。また少子化により生徒数が減る中で優秀な生徒に1人でも多く来てもらうためにも学科で1人2人くらいはいいのではないかと。

授業料免除制度を目指して、私立大を受験する人はとても多い。大分では日本文理大学が幅広い免除、減額制度を設けているが、実際就職先も公務員など多数輩出したりしていて実績が出ていると思う。その制度を打ち切られないように勉強に取り組むモチベーションにもなる。

テレビ(ニュース等)を流す部屋があれば面白いと思った

なし

学生レベルの向上。

人、交流、好奇心の育成。

とくにありません

なし

特になし。

もっともっと大きくなる

有名になって欲しい

大学の名が有名になること



ないです。

勉強できる場所が欲しい。

特になし

自由

100年後も同じ建学の精神を持ち続けていって欲しいと思います。

特にありません。

35号館にエレベーターがほしい。

発酵食品学科が有名になること。

いろんな日本の文化を勉強したいです

なし

台風の日には電車が止まっていて、来れない生徒もいるのに授業を通常通り行うのはやめてほしいし、休講になるにしても、家が遠くて早くから出ないといけない人もいるので、連絡するのをもう少し早くしてほしい。

情報の共有をネット上で行うなら、きちんと整備が整ってからにして欲しいです。

また、共有が遅いことが困ったので早く正確な情報を提供していただきたいです。

大学内での情報共有の差を埋めていただければ、教員、事務、学生全体的に過ごしやすくなるのかなと思っています。

何もなし。

これを書くことによって、変わるという事が期待出来ませんので特には言いません。

ラーニングコモンズをはじめとする、本格的な意味合いの自習室とうの設備を増やしてください。

就活の更なるサポート

無駄なところに金を使いすぎているように感じる。また、寄付を募らないと運営できないような大学なら大学自体をやめた方が良くと思う。学費、環境の面で学生のことを考えて頂きたい。

教職員若干名、人として言うてはいけない言葉を耳にしたことがあります。それだけ不快だと感じました。

図書館の貸し出し数を増やして欲しい

友達

なし

特になし

広く興味のあることによどの学科でも導入だけは踏み込める授業がもっとほしいです

野球部の全国大会出場

合理的配慮を円滑にさせていただくこと。

地域との連携

英語を使って他者とコミュニケーションを取る機会をもっと積極的に持って欲しい。

ない

特になし

留学など、グローバル社会に向けて人材育成をしていってほしい。

ネット環境の充実化、資格試験へのフォロー

施設を広くして欲しい

特になしです。

今は情報社会なので情報に強い人材を出して欲しい

良い先生方ばかりで、とても大学生活は過ごしやすかったです。

ないです。

特にないです。

外国人との深く交流することです。

特になし

なし。

A T Mはゆうちょが欲しい。

学校で 24 時間解放して勉強ができる施設が欲しい。

学食に人が多く、行きづらかった。そこで、お弁当売りや丸善、近くのセブン、飲食店で済ませることが多くなりま  
した。学校に来るパン屋さんのパン、美味しかったです！

もし、学食がもう 1 ヶ所増えたら、利用したかもしれません。

学生への待遇の改善

## 資料5. 卒業する学科に期待すること（自由記述）

### 国際言語・文化学科

書道の免許をいずれかはまた取得できるようになってほしいです。現在の高校生の中で、別府大学で書道の免許を取れたら別府大学に行きたかったのという声をたくさん聞きます。別府大学に行けないならどこに行こうと悩んでいる生徒もたくさんいます。大学までそのような声はなかなか届かないかもしれませんが、書道の免許が取得できる学校への復帰にぜひご一考お願い申し上げます。

特になし

私は古典文学を専攻していて”好き”を深く追求することの楽しさを学べました。そしてそれは、学科全体の授業を受けていて思ったところでもありました。古典文学のみの視点ではなく、言葉の視点、近現代的文学視点、歴史的視点を国際言語・文化で学ぶことによって、古典文学がより深く考えられるし、古典文学と考え方が繋がった瞬間のときめきは忘れられません。何処で学んでいても楽しかったです。

個人のロッカーがあると良い。

特になしです。

デザインや絵画などの作品を作り続けますように。

なし

### 史学・文化財学科

歴史に関する分野での活躍

なし。

私の性格の問題でもありますが、担当教授等への質問がよりしやすい環境があれば良いと思いました。

特になし

先生と生徒が一体となって頑張ってもらいたいです。

指導力向上に努めてほしい。特に卒業論文担当教員はそうである。私の場合、クラス担任が親身に学校生活のことや、その他相談など行ってくれたおかげで、大学生活を問題なく過ごすことができた。また、学科だけでなく、資格関連の教員が、学生の名前を覚えたり、学生理解をしてくれていたことが非常に大きかった。

ない

歴史に関する関心が深まったのでこれからも変わらない環境でいてほしいです  
地域連携事業の参加に頑張ってください。

もっと歴史に興味無い人でも興味を持てるような授業を作ってもらいたいです。

今のままで良い

### 人間関係学科

早め(大学3年生)のうちから、卒論に取り掛かる時間とか、同じゼミの大学4年生と関われる環境とか、卒論の書き方を語り合える関係を持ちたかったです。

国家試験の合格率を上げること。

特にありません。

同窓会などがあつたら行きたいです。

もっと人間を好きになって欲しいし、自分のことも見つめ直すことができる学科だと思うので、目をそむけずに

向き合って欲しいと思います。

特にないです。

現状でとても満足しています。

パンフレットとかに社会福祉士、精神保健福祉士とは？を書いて、コースに入る人を最初から増やしてほしい！

福祉コース人数が少ないのが悲しいです！

社会で活躍できるシステムを作ること

特にないです

## 食物栄養学科

### 専門性

どの先生も国試対策を念頭に、丁寧に教えてくださるので、今後もそれが続いていくと良いなと思います。一方で、国試合格にウエイトが置かれ過ぎているように感じることも時々ありました。国試合格を前提とするのは良いですが、せつかく4年制の大学で学ぶので、国試対策のポイントをおさえつつ、もう1歩深く学ぶ雰囲気をもっとあると、探究心もわいて、のびのびと学べるのではないかと思います。

合格率を上げるために学内模試での足切り制度をやめてほしい。もし足切りで落ちても3月の国家試験までに猛勉強すれば受かる可能性もあるのに、可能性を0にしないでほしい。また、自習するためだけに学校に来させるのは、車通学の生徒はガソリン代がかかるし、遠くから来ている生徒にはかなりの負担になるのでやめてほしい。

なし

足切試験があることをオープンキャンパスの時に伝えて欲しい

これからも生徒が自主的に勉強できるようにして行ってほしいです。

特にないです。最高の学科でした。

課題を多く出せば国試の点数が上がるということではないと感じました。課題が多く提出期限が短いと、提出することに目的がシフトし、国試の問題の一問一問に集中して取り組むことができなくなると感じました。そのような点も考慮していただけたら嬉しいです。また3年は忙しいので、時間に余裕がある2年のときに国試の問題をたくさん解かせておいたらいいと思いました。

特にありません

国試対策の充実

大学生らしい学生生活

特になし。

先生方が親身になって、接して下さって本当に感謝しています。

ありがとうございました。

特にありません。

湯けむりはたしかに大切だと思うが、それよりも国家試験の勉強に時間を当てて欲しい。

夜遅くまで使える場所をもっと作ってほしい

学科に資格試験の本や研究の参考文献などがたくさん増えるといいなと思いました。

管理栄養士がどういうところで活躍しているのか4年生になって保育園や福祉施設などで働いている方を呼んで話を聞く機会を作ってくれているが、就職活動を行う前に話を聞いて参考にしなかった。

就職活動について詳しく説明がなかったため、どう動いていいか分からず戸惑った。

私のように詳しく分からず戸惑った学生がたくさんいたため就職活動についてもっと力を入れてほしい。

授業の一つで欠席したら－5点にする制度をなくした方がいいと思う。

－5点にするのは出席させるための脅しなのか知らないが、学生を信用してないように思うし、やる気をなくしてしまう。

管理栄養士の合格率を上げるためにあしきりを行う意味がよく分からない。

みんなお金を払って大学に通って頑張って勉強しているのにあしきりで管理栄養士の国家試験の受験資格を奪うのはおかしいと思う。

ただ知識の詰め込みをさせるだけの授業でなく理解させる授業をした方がいいと思う。また、全員平等に学費を払っているのだから全員平等に国家試験を受けさせるべき。大学の合格率しか見ていない点、卒業後の学生の将来のことを考えていないという点が目に見えてわかる。全員平等に国家試験を受けさせて高い合格率を出してこそその大学であると思う。

足切り制度を辞めた方がいいと思います。

量だけの課題だけではなくて、質の高い課題を出して下さい。何を目的に今やっているのか

見失うと、そこに時間をかける時間と能力が無駄になってしまうから。自己満足な授業じゃなくて、学生がわかるような授業をして下さい。

社会に出たときに大学での学びがもっと生かせるような、より実践的な実習や講義を行うこと。

管理栄養士になるために重要な知識を学べることができ、また経験を積めるような機会がさらに増えると良いなと思います。

なし

国家試験は受けたい人はみんな受けれるような制度にして欲しいです。

レポートを印刷する時など学生が印刷できるコピー機が食物棟があれば良いなと思う。

特にないです。

#### 発酵食品学科

特にありません

卒業生だと自慢できるほど、有名になること。

なし

特になし。

発酵大学×温泉大学のコラボ

もっといろいろな講義

研究設備の向上

一緒に働きたいと思える学生

発酵食品学科という名前は誤解を招いて入学する人が多いと思うので改名したほうが良いと感じました。

学科のブランド化

なし

#### 国際経営学科

特にありません。

学科の中での分野が多いので様々な事が学べ、いろんな道があるのでその道をもっと増やして欲しい

特にない

ないです。

もっと資格取得への色々なサポートがあれば良かったと思います。簿記やマーケティングなどはサポート素晴らしいですが他にももっとサポートしてあげたらいいと思います。

ない

特にないです。

大学院に順調に進みたい

大分トリニータとの連携

なし。

なし

勉強できる場所が欲しい。

特になし

特になし。

ないです。

特になし

国際交流をもっと積極的に増やしてほしい。

もっと株や経済の勉強できるようになって欲しい

課外学習などの活動を積極的に行って欲しいです。

特になし

電子商取引に関する学科

勉強した知識は仕事を活かせれば、良いと思います。

異文化交流の機会の増加

## 資料6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

頑張れ！

特になし

先生の言うことは聞きましょう。

変に反抗すると大変なことになります。

頼りになる先生を見つけましょう。

大学の勉強に縛られずに、自由に自分のやりたいことを探求していけば良いと思う。

適度に息抜きしつつ、勉強は手を抜かないで

自分の好きなことを見つけるためには、何ごとにも一生懸命取り組むことが大切だと思います。4年間やってみたいことに取り組むことができるのは今だけです。行動にうつそう！

別府大学で自由に学ぶと自己成長できる

ない

今、勉強頑張ってください。

勉強やアルバイトだけで終わるような学生生活はあまりにももったいないです。

学生の内は視野を広げる必要があります。

自分にとって今何が必要か、向き合えるのが大学生の時期です。良い考え、言葉に触れて

自分自身を作る時間にして下さい。社会人は、今まで作ってきた自分を使う時なので、何に時間を費やすべきなのか考えて過ごして行って下さい。

あまり他の学部と比べて遊ぶ時間はないけれど頑張ってください

学生のうちにしっかりと勉強をしておくと、自分の力になると思います！

管理栄養士として働こうか迷うことがあると思いますが、出来るだけ早く進路の方向性を明確にした方が良いと思います。国試の勉強もあるので早めに行動することが良いと思います。

卒業することを目標にするのではなく、その先を見据えましょう。

目標を達成できるようにがんばってください。

頑張ってください。

当たり前のことを当たり前にきちんと行えば、後々苦労しなくても良くなります。大学は、積極的に学べば自分の実力を高められますが、同時に簡単に自分を甘やかすことができる場所でもあります。自分を律して頑張ってください。自分で早め早めに国試対策をしておいた方が後々本当に気持ちが楽になります。一年の時から少しずつ参考書などを利用して過去問に慣れておくこと、わからないことはそのままにせず、自分で説明できるくらい理解することが記憶への定着にもつながると思います。

食物栄養学科は国家試験がありとにかく大変ですが、先生や友達、後輩との関わりが多くとても楽しいのでぜひ頑張ってください！

国試しんどいけど頑張れ

私も頑張ります

きついことも多いですが勉強も楽しいことも頑張ってください。

なし

大学でしかできない経験をたくさんしてください。

国家試験を受ける学生は、国家試験合格しないと大学に来た意味は無いという事。

大変なこともたくさんあると思いますが、何事も自分の糧にして、充実した大学生活を送ってほしいと思います。  
好きなことに興味興味を持ったらどんなことでもやりきってください。それは大学以外でもそう。授業や学びだけでなく、自分の感性がワクワクすることはすぐにやってみることをおすすめします。『やりたいこと』『やるべきこと』『やらなければならないこと』の比重を常に考えて、後悔のない大学生生活を過ごしてください。

自分は、完璧な学生ではなかったと思うだが、失敗しながらもいろいろを学んだ四年間だった。大学四年間は、実は高校の三年間より短いのだと思う。そうした中で、毎年失敗することを目標に(例 部活サークル活動で何か失敗する年)のように一年、一年を過ごして欲しい。

Relax

授業の課題とかはなるべく一人で行動せず、知人と行動した方がいい。

資格取得に向けて勉強頑張りましょう！

欠席回数の数え間違いだけは気を付けた方が良いです

後、サークルに入った方が絶対面白い

頑張り！やったしこ自分に身につく

今からでも遅くないので、自分のやりたいことをノートなどに書き、それを一つずつ達成してください。そのためには、努力が必要になります。そして、諦めないでください。

特にはないです。

頑張ってください。

頑張ってください

なし

たくさんの知識を勉強しましょう

無理せず自分のペースで取り組むことが一番だと思います。

自分の分野外の講演会などにも参加するとういと思う。

別府大学は他の大学に比べて、学校の規模は小さいが、先生方の中には親身になってくれる人がいる。ぜひ、思いっきり頼ってほしい。

また、自分の願いは必ず話してほしい。必ず叶うからである。失敗しても良いので、全力で悔いの残らないように4年間を過ごしてほしいです。

食物栄養学科は、他の学科に比べて、自分の時間があまり持たなかったらり、アルバイトも思うようにできないことがあると思いますが、大学で学ぶことは全て将来の自分に役立つことなので、しっかり学習していくことが大切だと思います。頑張ってください。

卒論はなるべく早く取り組みましょう笑

なし

興味に取り組んでください。

周りには関係ないので、人と違う生きた方をしたほうが楽しいです。

後輩達には、今まで通り、積極的に頑張ってもらえた良いと思います。

諦めない

色々努力次第です。

ないです。

頑張り

頑張ってください



自分が何者なのかを知ることが大切だと思います。

大学に入学して、いい経験をもらったです。あなたたちもよく楽しんで経験してください。

特になし。

特にない

卒論のテーマ決めに早めにした方がいいと思います。

通常授業の勉強や国家試験の勉強等大変だと思いますが、時間を上手に使って頑張ってください。

自暴自棄になるような事があっても人としての道は踏み外さず、人を助ける事と感謝を忘れずに過ごしていけば必ず人として一皮向けて社会に出ていけると思います。

勉強やアルバイトなど大変だと思いますが時間を上手く使って学生生活頑張ってください。

有名になって、熊本県の「みなとしょうゆ醸造元」を宣伝してください。

自分の目標を達成するために頑張ってください

頑張ってください。

大変なこともあると思いますが、未来の自分のために、支えてくれている人のために、貴重な大学生活を大切にしてください！！

なし

大学生活は新たな出会いや新たな学びを経験する場であるので、大学生活を思う存分楽しみ、勉強も怠らずにがんばってください。

色々大変なこともあると思いますが、頑張ってください。

以下に大学という機関を使い倒すか、そしてこの4年で単位を取るだけでなく。また何か別の意味で使い倒されるのか。

自分は、人間関係学科の学生で、今春卒業予定の学生です。これから心理系、社会福祉系、精神保健福祉で勉強をして、将来の進路選択に入れて考えている学生の方は、キツイことが多々あるかもしれないけど、そのキツさをバネにして飛躍して、充実した学生生活にしてキャンパスライフを謳歌してください。きっと、この別府大学で四年間、勉強してきたことは、将来生きてくると思いますので、皆様のこれからの学生生活を応援しています。

”楽しいことだけではないけど、自分や周りの人達との協力があつての大学生活だと思います。

勉強と遊びとの両立を考えて4年間頑張るって欲しいです！

勉強も大事だけど遊びも大事ですよ。メリハリをつけた生活をしてください

1.2年で単位をしっかりと取れば、3.4年では比較的楽に授業が取れます。頑張ってください。

自分のやっている分野が今役に立たなくても将来的にきっと何かの役に立つと思うので頑張ってください

やりたいことがあったらチャレンジしてもいい

なし

頑張ってください

大学で学びたいと思った事ややりたいことを真剣に取り組むと案外楽しめものだと思うから早いうちに目標を決めとくといいですよ。

興味を専門に結びつけるようにいろいろな本を早くから読んでおくと専門書にも読み慣れるので良いと思います。図書館をぜひ活用してほしいです。

諦めなければ夢叶う

地域連携事業の参加に頑張ってください。

卒論テーマは早めにきめるべし！でない資料無いー！と精神的にしにかけます！

大学生活楽しんでください。

ない

特になし

目標ややりたいことは、常に持っておく方が良く感じました。何か課題でつまずいてもまた頑張れると思います。

真面目に授業を受けていれば単位だけでなく知識を知らぬ間に付いているので頑張ってほしい

就職は諦めなかったら決まるので粘る事が大事

自分のペースで焦らずに頑張ってください。

悩みがあれば1人で抱え込まずに、カウンセリングの先生や周りの方に相談してみてください。

良い先生が沢山いらっしゃるので、話してみたら変わるかもしれません。

なんでもやってみることが大切だと思います。

頑張って早く就職活動をしてください！

留学生の後輩にちゃんと日本語の勉強を努めてくださいと言いたいです。

特になし

なし。

自分のことに時間を使える最後の学生生活だと思うので、命は大切に色々なことに挑戦して頑張ってください。

テンプレになりますけど、長いようで、一瞬で大学生活は吹き飛んで行きます！いちにちをだいじに！

卒論や車の免許、アルバイト経験は、大学3年生のうちから取り組んだがいい。

大学4年になったら、就職活動や進路選択決めに、アルバイト経験が活かせる。

卒論は早めの方が、書き終えた後、見直せたり、書き終えるまでの緊張感や焦りを減らせる。

車の免許が要る人は、大学3年の夏休みまでに取っておくといいかな。もちろん、大学4年でもいいけど、早めに取りをオススメしたい。

大学生活は大変なこともこれから増えていくと思いますが、楽しいことも増えていくと思います。これからも頑張ってください。

やらなくて後悔するくらいならやったほうが断然いいし楽しい。勉強会も確かに良いです。身になるから。でも、ともに歩んだ仲間との思い出だって掛け替えの無いものです。

もっとたくさんどこかに出かけたら良かった。車借りて遠くに出かけたりしたら良かった。少しだけ後悔しています。

あとアパート引っ越してよかったなって思います。駐車場付き 2DK 大家さんの恵方巻き、おはぎ付き！めちゃくちゃ良かった！

自分を強く持って頑張ってください。

頑張ってください

限られた大学生活十分にたのしんでください！